技術商品 Dicom画像Viewerの操作説明書

Viewer ボタン機能名称

Viewer メニュー機能名称

基本操作

- ・WL/WWの設定
- ・拡大・縮小の設定
- ・キー画像保存
- ・画像の表示方法 (その1)
- ・画像の表示方法 (その2)
- ・Angio画像の表示
- ・コマ送り設定
- ・ファイル開く
- ・機能のキー割付
- ・イメージャ用画像作成

Viewer ボタン機能名称



S_Prior	Prior (<u>P</u>)	AWL	Normal	1x1	2x2	3x3	4×4	Z-	L	R	cine ST WL_WW L 0	IniSet	BW 💌 🗆 Info 🗆 Scale 🗖 Series
S_Next	Next(<u>N</u>)	🗆 Indivi	Erase(<u>E</u>)	2x1	2×3	3×4	4×5	Z+	۷	Η	ms V O	Zm	Save 🔸 🕨 Exit 🗆 Line

Viewer メニュー機能名称

*)Viewerのメニュー表示モードにより表示内容は異なります。

右クリック



Shift+右クリック

*)menuを絞って表示します。







ŢP

画面全体をJpeg画像として保存する。

このアイコンをマウスで選択し、マウスを左クリックしたまま 描画した四角の範囲をJpeg画像として保存する。



(その1)

Series 🗆 Line

Seriesにチェックがない場合

画像の表示方法を選択して表示する。

全画像をそのままの順で表示する。 (通常の表示方法)

2x2コマ表示の場合







Angio画像の表示

Angio画像の動画を表示する。

Angioの動画像を表示する。

動画の1枚目が表示される。

右例では 動画像のファイルは3枚







画像を選択し、右クリックで Multi_Frame展開を選択する。

選択した画像の動画像が枚数分 展開されて表示される。

*)展開した画像を選択し Multi_Frame展開を選択すると 元の画像のみ表示する。

cine ST ms

通常のコマ送りを行う。

自動で連続コマ送りする場合は Cineボタンを押す。

コマ送り時間間隔を設定すると、 その時間間隔で表示する。

時間間隔が設定されていない場合は 100msec で表示する。





左上の ファイル → ファイル開く で ダイアログを出し、Dicom画像を選択し、開く を押す。 *)選択した画像が含まれるフォルダー内の全画像を取得し、表示する。

ファイルを開く		? 🛛
ファイルの場所型	C XA99999-35-57251-2	- ← 🗈 💣 💷 -
	0 <mark>4.dom</mark> 05.dom 06.dom	
ファイル名(N):	XA999999_001_004.dcm	開((_)
ファイルの種類(工):	Source Files	 キャンセル

キー割付

ファイル(E) ファイル開く



過去画像取得



*)表示している画像を削除する場合に使用

*) 画像リストは別途 画像管理ソフトで設定される。

イメージャへの出力画像

*)イメージャとの通信は別途対応しています。

I Film印刷		X
OK MR 2835592 Chiba Kazuł	iaru	0 ++>>tell
7オーマット STANDARD¥1,1 サイス*14INX17IN	(1)枠数設定	印刷枚数1 ● 優先度 HIGH ▼ 媒体種類 BLUE FILM ▼
方向PORTRAIT	範囲指定内容	排出場所 PROCESSOR ▼
2)追加 和…」Study Series Image		拡大方法 CUBIC I
	☑ 名前	平滑如701
全追加	LT 💌	画隔濃度 BLACK _
	□ ライフサイズ	NO ▼
晋川尼全	(3)12ビット画像	1x−9%LUT KC_LUT=1
	(3)8比沙卜画像	Max濃度 300 ▼ Min濃度 40 ▼ 光度解釈 MONOCHROME2 ▼
	(3)MMG合成	極性 NORMAL ▼ Deci/Crop DECIMATE ▼
(4)TFile	(4) 送信	AEタイトル _{CR_KC_DPR03_P011} ▼ y=a*x+b_(3)/Lア変換 0.8 900